

知道 CHIDO-KAIHO 会報

80

編集 知道会広報委員会
〒310-0011水戸市三の丸3-10-1
茨城県立水戸第一高等学校内
発行人 角田芳夫
発行日 平成24年5月15日
通巻 第80号
メール chidou@world.odn.ne.jp

目次	特集	水戸一女子会スタート	2
	一高だより	知道会褒賞受賞者	4
	同窓会・支部だより	33会ほか	6
	PERSON	『箱根』を走ったただ一人の卒業生	7

平成23年度 「会員の集い」 について

昨年の「会員の集い」は約300名の参加があり、11月19日に水戸京成ホテルで開催されました。担当学年は、S55年、H2年、H12年卒。昨年の5月から毎月実行委員会を開催し、企画を練り上げてきました。

受付は、H12年卒。代議員会の受付から、「会員の集い」の受付・対応に全力で取り組んでくれました。

記念講演は、S55年卒の企画。同年卒の鬼澤宏幸氏が「ほしいも学校のつながり」を演題に講演しました。「ほしいも」を通して、人の営みや環境を考え、未来へつなぐプロジェクトを開始しているとのこと。パッケージデザイナーと提携しての「ほしいも学校」立ち上げ、ほしいもの歴史などを話され、さすが茨城は「ほしいも」の日本一の産地(95%を作っている)と感心させられた講演会でした。

「会員の集い」の担当はH2卒。彼らが企画したメインイベントは「のど自慢(歌声喫茶)」。ありそうで無かった企画です。S55年卒の中島道也氏の「青葉城恋歌」、S41卒藤枝建夫氏の「高校三年生」や、全員での「上を向いて歩こう」



昨年の会員の集いで行われたのど自慢

の合唱など、会場一体となつての「のど自慢」でした。

今年もまた参加しようという気持ちになってもらえる「会員の集い」でしたでしょうか？

最後に、特別に「石巻漁港の復活」を講演してくれたS38年卒須能邦雄氏に感謝しつつ、3.11被災地の復興を願っております。

平成24年度「会員の集い」について

今年度の「会員の集い」は11月17日(土)に水戸京成ホテルで開催します。担当学年は、S56年卒、H3年卒、H13年卒です。昨年から今年、そして来年と「会員の集い」を繋げることに総務委員会と担当学年は努力しますので、多くの同窓生の参加をお願い致します。

会計報告 第60期 H22.10.1~H23.9.30 第61期 H23.10.1~H24.9.30

	項目	60期決算額	61期予算額
収入の部	年会費	9,224,000	10,000,000
	卒業生入会金	1,610,000	1,600,000
	寄附金収入	1,195,200	200,000
	会員の集い会費	1,310,000	1,100,000
	受取利息	16,325	20,000
	特別積立金取崩	64,180	1,000,000
	雑収入	8,260	1,000,000
	収入合計	13,427,965	14,920,000
支出の部	運営費	(12,184,342)	(12,110,000)
	会員の集い費	1,700,918	1,600,000
	会議費	83,804	100,000
	事務局運営費	2,168,462	2,200,000
	通信費	3,069,130	3,050,000
	消耗品費	71,756	110,000
	旅費交通費	114,210	150,000
	渉外費	68,461	100,000
	支部強化費	435,000	400,000
	振替手数料	422,835	500,000
	印刷費	3,720,937	3,500,000
	リース料	328,829	400,000
	事業費	(382,518)	(975,000)
	総務委員会費	67,985	65,000
	財務委員会費	20,000	20,000
	広報委員会費	130,865	180,000
	名簿委員会費	10,000	10,000
親睦委員会費	153,668	200,000	
女性会員拡充費	0	500,000	
母校助成費	(861,105)	(1,240,000)	
卒業記念品費	458,855	470,000	
大会補助金	217,250	500,000	
卒業生褒賞費	185,000	270,000	
	支出合計	13,427,965	14,920,000

なぜ、いま女子会なのかなのか？

「水戸一女子会」と名付けた会を、4月21日やっと開催することができました。

この会の開催はここ数年の課題でした。在校生の半数近くが女子となっている現在、当然、卒業生の女子の割合も増えています。しかしながら、知道会行事の参加者には女子の姿が非常に少ないのが現状です。ぜひ、たくさんの女子卒業生に参加していただきたいと考えています。

でも諸先輩方の集いにいきなり出るの難しいかも…それなら、女子だけの会ならばどうだろうか？そんな思いから企画された会です。

卒年の垣根を越えて、美味しい食事と楽しいおしゃべりの会にしたいと考えています。少しずつ参加者を増やしていけたらと思います。

小林圭子（昭48卒）

4月21日（土）午前11時から、水戸京成百貨店9階「ゆばの里 真慈庵」で「水戸一女子会」の第1回の集まりがもたれました。出席者10名は、口コミや知道会ホーム



「この前お会いした時は…」

ページからの申し込みで参加してくれました。

知道会親睦委員会の小林圭子さん（昭48卒）から、「女子会」の趣旨説明の後、「水戸一女子会」という名称について話し合いました。ストレートに「水戸一」を付けるかどうかという点では、むしろその方がすっきりするというような意見でまとまりました。

女子の増えた今、逆に「なぜわざわざ女子会なのかなのか」という疑問も出ました。取りあえず、女子会の継続については、少しずつ、輪が広がればいいし、毎回出なくてもいい。フレキシブルに細く長く運営していったらどうかという辺りで落ち着きました。

その後ちょっと豪華なランチタ

イム。お料理の置き場に困る品数でした。食べながら自己紹介と女子会を含む知道会の行事への提案などに、話が盛り上がりました。

親子で参加できる東京知道会のさまざまな行事の情報も提供されました。例えば「JALの整備工場見学」や「JR社員訓練施設見学会」など、なかなか一般人は入れませんが、知道会のつながりを生かした興味を引く企画です。やって欲しい企画を募集してもいいかもしれません。

知道会の会費等の使い道についてももっと広報が必要だと言う意見もありました。年間2,000円で、年2回の会報が来るだけでは、払おうという意欲が出てこないのでは、ということです。

会員の集い 幹事学年紹介

昭和56年卒

昭和56年3月1日卒業生 男337名、女73名、計410名。成田空港開港（5月）、日中平和友好条約調印（8月）、水戸一高が創立百周年を迎えた昭和53年の入学（概ね）です。

共通一次元年、土浦一高の申入れで定期戦が廃止され新行事となったスポーツフェスティバル。野球応援。校歌問題模擬裁判が行われた学苑祭。大宮・桂コース72.6kmの歩く会。「誰も歩いたことのない道を歩こうと〜」と歌った創立百周年記念式典。ひとつ経験する度に大人になりました。

3年時の学苑祭後に発生した塔里苑事件。臨時ホームルームで社会から投げかけられた批判に対し自ら考え対処することを学びました。そしてまた大人になりました。

会員の集いの講演は、府中誉（株）社長の山内孝明さん（33組）です。杜氏でもある山内さんの話に酔い、美酒に酔う、楽しい集いになること間違いなしです。多くの会員の皆様が集い、素敵なお大人になる機会としたいと思います。

同日、学年同窓会も開催予定。多数のご参加をお待ちしております。

（梶山、北條、橋川、平井、飯塚）

平成3年卒

今回は、私たち平成3年卒業生が会員の集いの担当学年になります。

前回は受付を担当してから10年、高校を卒業してからとなると20年以上という月日が流れたことになり、光陰矢のごとしという言葉を実感せざるをえません。

私たちの在学時を思い起こせば、高校1年時に昭和から平成への改元があり、ベルリンの壁崩壊に始まる東西冷戦の終結があり、3年生のときには湾岸戦争がはじまり、と、なかなか激動の時代だったような気がします。

水戸一高内の事に関して言えば、インドネシアへの研修生派遣が始まったのが私たちの時からでした。

昨年は10年ぶりに学年同窓会を開催し、懐かしい友人たちと楽しい時間を過ごすことができました。今年の会員の集いにも多くの同窓生の出席をいただければと思います。



ヘルシーメニューで女子には嬉しい



確かに、自分の払うお金の行方は気になります。年間2,000円ですが、それがどのように使われているのか納得できなければ、継続して払い続けるのは難しい。言われてみれば、その通り。特に、若い世代や女性はそうかもしれません。

1次会終了後、全員で記念撮影し、数人で水戸芸術館現代ギャラリーを鑑賞して解散しました。

今回は、7月頃を予定しています。知道会のホームページから申し込みますので、チェックしてみてください。



女子会に期待する

知道会会長 角田芳夫

女子会ということで思い起こせば、私が入学いたしました昭和25年、水戸一高に初めて横須賀さんと来栖さんという美しい2名の女子生徒が入学され、たまたま、私は同じクラスという光栄に浴しました。しかし、男子校への入学ということで、お二人には先駆者として、いろいろ筆舌に尽くせぬ苦労があった筈であります。以来、時の流れにつれて女子生徒が多くなり、昭和60年度には100名を超え、最近では約140名と45%近くで推移しており、完全な共学校となった今、昔日の感があります。現在の女子生徒卒業生総数は4,800名を超え、知道会組織、事業等について現状を反映するよう顧慮すべき時期と思料しております。

過去にもそういった動きがありました。平成8年から数年間、20余名のメンバーで「知道会女性の会」が組織され、講演を交えた懇親会等で親睦を深められました。その後、創設メンバーの転勤等、一身上のご都合で、残念ながら活動を中断せざるを得なくなったと承知しております。

最近、再び機運の醸成に伴い、活発化すべく第61期知道会事業に女性会員拡充費が予算化されました。知道会の現状に即したより活発・活動的な運営のためには、女性の視点が極めて重要、必須であります。133年の伝統ある水戸一高の更なる飛躍のために、今年度から歩き始めた「水戸一女子会」の今後の活動に大いに期待しております。

女子会データ【女生徒在籍者数の推移】 * / の右側は全体数 出典：学校要覧

年度	在籍者数	年度	在籍者数	年度	在籍者数	年度	在籍者数
S25	2/1215	S41	98/1461	S57	263/1227	H10	414/1103
S26	15/1201	S42	95/1467	S58	292/1240	H11	426/1105
S27	35/1228	S43	91/1429	S59	313/1253	H12	441/1105
S28	42/1248	S44	103/1360	S60	325/1274	H13	433/1061
S29	38/1272	S45	109/1313	S61	338/1277	H14	430/1024
S30	31/1284	S46	111/1271	S62	334/1279	H15	409/ 983
S31	29/1346	S47	112/1247	S63	349/1320	H16	408/ 980
S32	23/1351	S48	110/1228	H元	335/1321	H17	404/ 983
S33	19/1395	S49	142/1223	H 2	338/1322	H18	426/ 980
S34	14/1388	S50	163/1226	H 3	346/1262	H19	426/ 981
S35	24/1371	S51	193/1231	H 4	371/1240	H20	445/ 981
S36	29/1353	S52	228/1235	H 5	395/1220	H21	425/ 976
S37	47/1366	S53	233/1229	H 6	421/1193	H22	409/ 972
S38	62/1472	S54	250/1224	H 7	403/1171	H23	391/ 971
S39	85/1492	S55	241/1228	H 8	402/1134	H24	404/ 972
S40	96/1511	S56	259/1224	H 9	414/1103		



今回は皆様楽しんで頂けるよう頑張ります。当日はよろしくお願いたします。(36組 立原暢也)

平成13年卒

平成13年卒にとっての在学中の出来事を振り返ってみると、校舎が新しくなっ

たばかりで、入学と同時にピカピカの教室に入ったことが思い出されます。創立120周年を記念して合宿所の江山閣が建て替えられたり、豪華な文化行事(オペラ「こうもり」をプロと高校生が共演!)を経験することもできました。応援団に女子が在籍していたりと、何かと活発な学年だったかもしれません。

同じ部活だった友人たちとは今でも毎年1回必ず顔を合わせています。お互い全然変わらないうつもりですが、今年10年ぶりに同席いただいた恩師の目に映った私たちは年相応だったようです。それなりに成長できていると良いのですが...

縁あって地元で仕事をしている関係で幹事の話をしていただきましたが、最近Facebookなどを通じて懐かしい友人たち



3年の時の歩く会「筑波コース」で。37組のみならず

とのつながりが広がっていることを嬉しく思っています。今回の集いが、また新たな一つの良いきっかけになればと思います。同級生の皆さまはじめ、昭和56年卒、平成3年卒の先輩方、どうぞよろしくお願いたします。(37組 齋藤典子)

EVENTS

平成23年

10月

2日 ミニ歩く会 (大洗コース)
那珂知道会

18日 25会

29日 昭36年卒50周年記念同窓会

30日 第1回知道会幹事会

11月

4日 26会

9日 28会

10日 財務委員会

12日 西日本水中一高会

15日 税理士知道会

19日 昭55、平2、平12卒同窓会
知道会会員の集い・代議員会

26日 昭33卒同窓会

27日 瓜連知道会

12月

4日 みつば知道会忘年会

平成24年

1月

2日 39会

2月

5日 桜川市知道会

11日 みつば知道会新年会

25日 東京知道会同窓の集い

3月

4日 34会

8日 第2回幹事会

10日 五軒知道会

26日 広報委員会

31日 茨城町知道会

平成23年度知道会入会に関する説明会

平成24年2月29日(水)、第1多目的室において11時15分から「平成23年度知道会入会説明会」が行われた。

平成23年度卒業生(平成24年3月卒)320名の中の知道会ホームルーム幹事18名、学校側からは早川校長、木戸副校長、高瀬教頭、古谷3学年主任、齋藤渉外部担当の各位、知道会から栗原幹事長、古平事務局長が列席した。

開会の辞の後、早川校長から、日頃の知道会の水戸一高に対する物心両面での支援・尽力に対する謝意、そして、今回の東日本大震災で痛感されたように、同窓の繋がり・絆が如何に大切であるか挨拶された。栗原幹事長より知道会の目的、組織、事業・活動内容等が紹介され、卒業後は先輩諸兄と緊密に連携し、日本全国・世界で活躍することを期待する旨結ばれ、説明会を終えた。

平成23年度知道会褒賞授与式

平成24年3月1日(木)、午後1時から卒業式に先駆けて「平成23年度知道会褒賞授与式」が階段教室において開催された。

水戸一高の名誉を大いに高めるに

功績のあった部・同好会(陸上競技部、山岳部、弓道部、ラグビー部、クイズ研究会、化学部、ソフトテニス部、吹奏楽部、図書委員会、棋道部、写真部、書道部、水泳部、放送部、レスリング、物理科、数学科)の平成23年度卒業の男子・女子生徒計36名が出席し、学校側から木戸副校長、柴沼渉外部担当、知道会からは角田会長、古平事務局長が列席した。

角田会長から日頃の努力・精進が実を結び水戸一高の名を天下に知らしめた皆様に敬意を表するとともに、この経験を基に今後の益々の飛躍を期待している旨挨拶された。その後、会長から褒賞(賞状、図書券)が渡され恒例の授与式を終了した。

平成24年度定期人事異動

次の方々が異動された。

1 退職(教科および在職年数)

海 埜 哲 夫	理科	12年間
海 野 順 子	英語	12年間
鈴 木 悦 男	国語	1年間
笠間高へ		
小松 碕 道 子	英語	3年間
森 田 泰 明	音楽	1年間
芹 澤 健	体育	1年間
永 井 千 文	国語	1年間
小瀬高へ		
兼 田 昭 一	国語	5年間
真 家 久	事務	5年間
白 田 智 子	事務	1年間
塙 洋 子	事務	22年間

教育遺産

開校130年を超える我が校には多くの古い(?)ものが残されています。見過ごされてしまったり、あるいは人目に触れずにあるものなども再発掘し、そこにまつわる話を交えて紹介します。

— 武石浩玻像 —

本校の教育遺産である武石浩玻像について語りたい。この武石像は江山閣の隣に建ち、水戸の市街を西に見るような形で立っていたが、なぜかたまに見る方角が変わる不思議な像でもあった。知道会のホームページにも掲載のとおり、先の2011.3.11の大震災により倒壊したが、修復後の現在は場所を中庭内に変え在校生を見守っている。

武石浩玻は明治35年に本校を卒業

後直ちに渡米し、ユタ大学に在学時にフランスの飛行家ルイ・ポーランの姿に感動し飛行家を目指すこととなる。当初はライト飛行学校に入学したが、その後カーチス飛行学校に転じ、明治45年に飛行免許状を獲得、日本の民間人としては3番目の飛行家となった。

大正2年4月に日本に帰国、同年5月4日、大阪・京都間の都市間連絡飛行に臨んだ際、京都深草練兵場への着陸に失敗し墜落、多くの観客の前で悲愴な最後を遂げる。彼は、民間飛行家として最初に日本の空を飛んだ人物であり、また最初の犠牲者でもあった。



写真左
4月4日グラウンドで行われた離任式



写真右
4月9日パティオで行われた保護者全体会

2 転出

高瀬 宏 樹	教頭	3年間
竜ヶ崎南高へ(校長)		
寺 碕 理 香	地歴	7年間
歴史館へ		
古 谷 英 雄	数学	9年間
結城一高へ		
岩 崎 淳 子	英語	6年間
波崎柳川高へ		
添 田 かをり	事務	3年間
日立一高へ		
長 沼 浩	事務	13年間
石岡二高へ		

3 転入(学校名は前任校)

中 島 博 司	教頭	取手松陽高
関 根 央	国語	勝田高
橋 本 さと子	国語	石岡一高
荷 見 武 史	数学	那珂高
山 口 悟	理科	銚田二高
吉 成 隆 一	音楽	竹園高
加 藤 浩 一	英語	日立一高
友 部 久美子	事務	盲学校
須 貝 猛	事務	那珂高
増 澤 恵 美	国語	
多 田 野 清 人	地歴	
川 碕 彩 未	英語	
酒 井 英 人	理科	

平成24年度入学状況

平成24年度の茨城県立水戸第一高等学校の入学者は男子182名、女子142名の324名(推薦32名を含む)で、過去2年と比べると女子がやや多い学年構成となりました。

出身地で見ると、県外では北海道、

栃木県、県内でも潮来など遠方からの入学者もおり、バラエティ豊かな人材構成となっております。

4月9日桜花に迎えられた入学式では、呼名に応じる新入生の張りつめた声が力強く響き、あたかも、傷ついた校舎が癒やされていくための希望の調べであったかのようでした。

これから、いよいよ真の水戸一高生になるためのチャレンジが始まります。それぞれが限界という壁を越えるための3年間です。どうか皆様、新しい後輩達を温かく見守っていただけますようお願いいたします。

(1学年主任 高野教諭)

入試結果と進路状況

平成24年度の大学入試は、320名の卒業生のうち、国公立大に111名、私立大に延べ363名が合格し、現役生の実合格率は63.4%であった。また、実際に進学した生徒は182名で、実進学率は56.9%であった。国公立大学の合格者数は昨年に比べ9名少ないが、東北大合格者が倍増し、旧帝大合格者は44名となり、昨年より7名多かった。また、国公立大医学部医学科は、現役生が東京大理Ⅲに1名、東北大に1名を含む6名が、既卒生は筑波大5名を含む10名が合格した。私立大では

被災者に対する受験料の減免措置をとった大学が多かったこともあり、例年に比べ合格者数が多かったが、早稲田大・慶應大の合格者は例年とほぼ同じであった。

主な大学の合格者数を以下に記す。()内は現役合格者数。

○国立大学

北海道大	2(0)
東北大	36(22)
茨城大	11(9)
筑波大	30(18)
千葉大	4(2)
お茶の水女子大	2(1)
東京大	15(9)
東京外語大	5(2)
東京工業大	4(3)
一橋大	7(5)
京大	4(2)
大阪大	7(4)

○私立大学

青山学院大	38(19)
慶應義塾大	43(19)
上智大	16(13)
中央大	95(32)
東京理科大	98(35)
法政大	42(19)
明治大	114(32)
立教大	106(17)
早稲田大	91(56)

(進路指導部長 正木教諭)

享年28歳であった。

機体は、観覧されていた久邇宮邦彦親王によって「白鳩」として命名された。当時この死は大きな反響を呼び、地元水戸では岡田知事等を発起人に記念碑建設の話がまとまり、年末には本校の西端に飛行機服姿の武石像が建てられたのである。

ところで、この像と一高生のエピソードであるが、よく聞かれるのは冒頭に申し上げたとおり、像の向きが時々変わることである。これは在校生が悪戯をして水戸三高の方に銅像を向かせてしまうことがしばしばあったからで

ある。また、像に隠れて、近くを通る当時は蒸気機関車であった水郡線の汽車の煙に負けじと煙をふかしていた学生も少なくなかったと言われている。

品のない話ばかりではあるが、豪放磊落で大志を抱いて海外に渡った武石氏であるから、そんな悪童たちに囲まれて楽しんでいたかもしれない。

そして現在は、場所を中庭に移して本校の生徒を見守る武石像であるが、校舎により近くの場所に引っ越したことを機会に、像を見ることが増えるであろう在校生達が武石氏の当時の大志・勇気を知り、そして世界に羽ばた



新しく中庭に移転した像

く志を抱ききっかけになってくれればと思う。

33会

平成23年11月26日、昭和33年3月卒、「33さんさん会総会」が90名の出席を得て、三の丸ホテルで開催された。

5年毎の定期総会、近年は平成11年、16年そして21年(70才)に順当に開催してきたが、卒後50年にあたる20年(69才)に記念同窓会を組み込んだ(50周年を記念し、知道会に50万円を寄付)。次回定期総会は26年(75才)であるが、そんなに待てねえと前倒し開催の意見が強く、21年総会時に役員改選と共に、23年(72才)に臨時に集うことに相成った。

会長(小堀1組)は佳きリーダーシップを発揮し、即中間開催を決断、気持ちよく退任した。全会一致、コシシ某も羨ましが的一幕。諸澤新会長(8組)の仕事がひとつ増えた。

会は型通りの進行の中で、お招きした知道会幹事長にご挨拶を賜り、その際震災で被害を被った母校への義援金を贈呈させていただいた。それ以前に自発的に母校への見舞金をお送りされた会員も多数おられたが、参加者全員、本日の会費より拠出し総額20万円を義援金とさせていただいた。

卒業以来初めて出席という、53年8ヵ月振りの初参加が数名いたが、その中の一人、1級建築士宮田節男氏(4組)に講演を依頼し「建築と地震」という時期にマッチしたテーマに全員耳を傾けプロジェクターに見入り、わかりやすい解説もあって、古希頭脳が乾杯前のせいか正常に対応できた。

そしてお待ちせの乾杯後は、お定まりのパターン、飲む程に酔うほどに懐かしさが募り、このままでは帰れぬとあちこちで2次会の手配をする各クラスの世話人さん。土曜日17時過ぎの難しいお店の手配も何とか済んで、それぞれ各2次会へ。

なお、卒業416名物故者60名、居所不明26名が24年4月現在。

(4組大内)

瓜連知道会だより

霜月も末の27日。本部より古平さん、隣接の那珂知道会より綿引さんをお迎えして、町うちのとある食堂にて第9回の総会を開催しました。

お二方にはそれぞれの会の活動状況等のお話を賜り、総会に花を添えて頂きありがとうございました。また私共は郷土のその道道のマイスターをお招きしてお話を伺うことを恒例としているのですが、今年は帝国ホテルでシェフをなされていたという惣田さんのお話を楽しく拝聴いたしました。

彼は料理一筋に勤め上げ、退職後は久慈川沿いの風土に魅せられ縁もゆかりもないこの地に移り住んだとのこと。私共はその良さに気付かず過ごしておりますが、これは母校に対する無自覚性と通底するところがあるのかもしれない。せめて総会の時ぐらいい思い出を甦らせたものです。彼の巧みな話につられ、目前の料理に帝国ホテルの料理をダブらせ平生より酒も進み話題をはずませたものでした。

私共は常連メンバー20名たらずの小さな支部ですが、それだけに親密度も高く同窓生の飲み会の様相を呈し、「楽しみは年に一度の知道会盃を片手に車座となる」といったところ。特に初回より女性会員も出席されて華やぎを与えてくれるのが何よりです。

来年は第10回という節目の年ですので、奥さん同伴でとか何か新しい企画をと幹事さん方が元気を出しておりますので、会員一同今から楽しみにしているところです。

茨城町知道会

平成23年度茨城町知道会は、平

成24年3月31日(土)午後2時から、茨城町役場近くの「柴竜」で開催しました。

総会では、物故者(会員及び東日本大震災被災者)に対する黙祷の後、市毛栄一会長が挨拶。栗原英則知道会幹事長から学校、知道会の現況報告をいただき議事に入りました。

初めに事務局より22年度(震災等により総会中止)・23年度会計決算報告、続いて役員の一部改選が行われ、新会長に佐藤方彦氏(S32卒)を選出しました。最後に、現会長退任挨拶、新会長就任挨拶があり総会を滞りなく終了しました。

総会後懇親会に移り各会員から近況報告をいただきました。特に俳人小川實氏(S28卒)の俳句の話は興味深いものでした。会是在学中の話題などで一層盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことができました。

なお、今年度は女性会員の参加を得、本会の新たな活動の契機となることを期待されます。また、小川氏からは、出席者全員に「小川實句集『青田波(あおたなみ)』(ふらんす堂発行)が贈られました。

五軒知道会

3月10日土曜日午後4時より水戸京成デパートバンケットホールにて、総会・講演会懇親会が開催されましたので報告いたします。

平成23年は地震等があり、開催できませんでした。一昨年より若い世代の昭和58年前後卒のメンバーが事務局、理事として参加するようになり、昭和20年卒から平成卒までといろいろな世代の先輩後輩が集まり、五軒知道会が開催されるようになりました。

36人の参加があり、来賓として、角田知道会会長、田中水戸知道会会長、桜山・みつば・下市の各知道会会長を迎えました。

『箱根』を走った
ただ一人の卒業生

大串 顕史 (H19卒 元早稲田大学競走部)

さんし会同窓会

毎年「さんし会同窓会」は水戸では3月4日に曜日に関係なく開催され、「在京さんし会」(会長 広瀬千秋)は10月に東京で開催されています。昨年は開催後に東日本大震災に見舞われましたが、会員には災害が無かったようです。「さんし会」では母校に災害見舞金を送りました。

毎年同窓会の前に小型バスをチャーターして水戸市内の名所を同窓生の但野正弘君(植草学園名誉教授)の案内で半日過ごします。今年の水戸駅前に26名が集まり「水戸の名刹・古刹巡り」をしました。六地藏寺・薬王院・報佛寺・祇園寺・神応寺とめぐり、未公開の本殿に上げていただいたり、ご住職から貴重なお話を聞いたり、剣豪 和田平助や、中村彝の墓を御参りしました。今年で6回目ですが毎回参加している同窓生から来年もという声があり「水戸市内の神社巡り」を考えています。

同窓会は49名が集まり水戸市三の丸ホテルでにぎやかに開催し旧交を温めました。

翌日は富士カントリー笠間でコンペを開催しました。エントリーが17名あり、朝から土砂降りの雨でしたが9名で雨にもめげずコンペを致しました。老人にはふさわしくは無かったのですがまだまだ元気な「さんし会」の皆さんでした。(代表幹事 湊 正雄)



今回登場願ったのは今年の箱根駅伝を走った大串顕史君。実は彼は2年前にも『箱根』を走ったのだが、本校出身者では初めてにもかかわらず、話題にも上らず、正直、知協会広報委員会としても彼の存在を全く知らなかった。前々回に続いて、今回も4区を任された大串君は、前回の不甲斐ない走りにリベンジする気持ちで大学最後の『箱根』を走った。3月に早稲田を卒業し、部活の合間の「就活」を経て、この4月就職した。その新人研修期間の僅かな休暇を利用して学校に立ち寄り、『箱根』を語ってくれた。本校が標榜する「文武両道」を体現したような、スリムで爽やかな好青年であった。

—『箱根』4区は気持ちよく走れたようですが。—

当初は6区(復路の山下り)にエントリーされていましたが、4区選手の体調不良のため、2年前に走った経験もあった私に急遽回ってきました。前回の雪辱を果たそうと気合いを入れました。4区というのは『箱根』の中で最短のコースでスピード勝負。2位でタスキを受け、そのまま5区に渡すことはできましたが区間5位は不満。でも、前回よりは十分『箱根』の走りを楽しめたように思います。

—練習が厳しいという評判の早稲田競走部に入ったキッカケは。—

走ることを教えてくれたのは祖父です。小学生の時、クラス対抗の代表に漏れてしまったことが悔しくて、それを見ていた祖父が翌朝から、校庭500メートルの早朝練習に毎朝付きあってくれました。

中学校ではサッカー部に所属しましたが、陸上競技にも出場し、そこそこの成績を残していました。水戸一高に入学して陸上部に入り、顧問の井坂先生の元で練習に励みましたが、結果は「関東」止まりでした。

結局、早稲田への推薦を得る記録は出せず、一般入試で挑戦しました。中学時代から早稲田は夢でした。「どうしても早稲田へ行くんだ」という思いで、3年の6月からは塾で缶詰状態で必死に勉強しました。

—走ることの魅力は。—

ランナーズハイと言われますが、走る



小田原中継所付近を走る大串君

毎に気持ち良くなってきます。その後はつらいけど。

一番の魅力は、沿道の声援。挫けそうになる気持ちを後押ししてくれるんです。他の競技と違って、知らない人たちでも自分の名前を叫んで応援してくれることは本当に嬉しい。

ただ、そういう大会に向けた練習はつらいですね。早稲田競走部は名門と言われるだけあって後から後から力のある選手が入ってきます。部内の競争は熾烈で、とにかく記録を残さないと生き残っていきません。そのためにも毎日の練習は欠かせないし、故障や怪我の無いよう体調管理、特に食事には気を使って4年間を過ごしました。

—将来は。そして後輩達へ。—

就職した「損保ジャパン」には実業団としての陸上部はないので、同好会に所属して楽しみながら走り続けていきたいと考えています。

—高時代、井坂先生からは、いつも「あいさつ、夢、感謝」とよく言われましたが、夢を持つことは一番大事です。澤島君も夢を持ち続けて、是非『箱根』を走ってもらいたいと思います。

(知協会広報委員長 井上記)



「先輩」の突然の訪問に駆けつけてくれた澤島竜一朗君(3年)(右) 昨年の歩く会ではトップ 本校陸上部期待の星だ 彼もまた「『箱根』はあこがれ 走りたい」と希望を語ってくれた

財務委員会

年会費納入は利便性の高い
預金口座振替で！

財務委員会では、銀行等預金口座振替による年会費納入を推進しています。

預金口座振替による年会費納入のメリットは、何よりも皆様の毎年の振込み負担が軽減されることですが、一方では会費管理事務の効率化が図られ、知道会の目的である「会員相互の親睦」と「母校発展の助成」事業の安定化に寄与できることです。

さて、今年度（61期・H23.10～H24.9）の会費納入者数は、3月中間期では目標5,000名に対し3,000名余と前年度並みとなっておりますが、年々会費納入者数は減少してきており、このままでは知道会の財政基盤が揺らぎかねないと懸念しております。

今年度、会費未納の会員の方には本会報に「年会費の振込み用紙」を同封しておりますので年会費納入にご協力をお願いいたします。

また、次年度より年会費の銀行等預金口座振替納入を希望する会員の方は、年会費振込用紙のメモ欄に記載されている口座振替依頼書希望欄にチェックを入れて下されば、口座振替依頼書を後日送らせていただきます。会員の皆様、こちらの方もどうぞよろしくお願いいたします。

親睦委員会

毎年6月に開催されております知道会のゴルフ大会も今年で第33回

を迎え、親睦委員会の主要な行事の一つとなっております。

近年は大洗ゴルフ倶楽部とその他のゴルフ場で交互に開催しています。というのも若年層から幅広い会員の皆様に参加していただきたいという趣旨から大洗ゴルフ倶楽部の年は木曜日、その他のゴルフ場の年は土曜日ないしは日曜日開催としております。

今年は6月7日（木）に大洗ゴルフ倶楽部での開催となります。主に直近数年間の参加者には案内状を送付しておりますが、知道会のホームページ上にも案内を掲載しております。

今回初めて参加したい、または久しぶりに参加したいという方も大歓迎ですので是非知道会事務局まで参加の意思をご一報のうえ先輩、同期、後輩との親睦を深めていただけたら幸いです。

【事務局から】

事務局の開設時間帯が限られているため、多くの会員にご不便をお掛けしています。

知道会に関するお問合せは24時間稼働中のFAX又はE-Mailでご連絡下さい。ご連絡頂いてから二日後にはご返信します。ご用件、ご連絡先、卒年をお忘れなく記載して下さい。

なお、お近くへ来られた際には是非事務局へお立寄り下さい。時折、留守にしていることも御座いますので、出来れば事前にご一報頂けますと好都合です。よろしくお願いいたします。

水戸一高震災義援金について

今回の東日本大震災では、震度6弱の大地震により水戸一高も甚大な被害を蒙り、その状況は先の会報78号に掲載したとおりです。この状況に鑑み、知道会会員の皆様から、ご自身も被災されながらも個人、学年・地域・職域知道会等から水戸一高のために多額の義援金を頂きました。会報79号にて平成23年9月5日までに寄せられた1846名の震災義援金寄付者名簿を掲載いたしました。その際、名簿に誤りがありましたので、以下のように訂正しお詫び申し上げます。

S29橋修 → S29橋修、S31杉山一雄 → S38杉山一雄、S33大槻守 → S33大槻護、S41櫻村真 → S41鹿志村哲、S47小貫道子 → S45小貫道子、H9森みゆき → H9森田みゆき、H23横倉萌花 → H23横倉萌、不明アサノタカコキ → S41浅野臣之、不明オヌマキヨコ → 旧職小沼紀代子、不明ナカガワケンジ → 旧職中川健二、追記S46山口那津男

現時点で、2,000名超の方々から2,200万円を超える義援金が寄せられております。この中から学校側と相談・熟慮し、学校運営に必須の理科実験器具、放送設備、エアコン、グラウンド補修、銅像補修・設置等々に充当し、施設・設備・経費補助など復旧、復興のために有効かつ適切に使用しております。会員各位のご協力・ご支援に重ねて感謝申し上げます。

また、平成23年9月26日以降、3月末までに下記の方々から義援金を頂きました。ご協力有難うございました。

S19亀山順子、26会、S27飯村陽一、S28坂場康克、S30西園寺治、S30吉田瑞子、S31横須賀信次、S32飯村幸男、33会、S33平野光男、S34柴山昌一、S34小森治、S35大高弘、S35沢畠精瑛、S35池田都賀康、S36川俣勝慶、S37小澤茂、S39鰐原寛治、S41高野典男、S46今瀬寛道、S47綿引隆文、S47岡部輝彦、S47芝田修、S48住谷賢真、S52酒井和子、S52戸崎勝章、S53小室昌彦、S54畑野典子、S59中山博史、H元富田幸男、H2石山路子、H7堀川博史、H11堀川真由美、H13堀川智史

水戸市役所知道会、東京知道会、プレビ株式会社、不明スズキヤスヒロ、不明 スズキアキラ、知道会ゴルフ大会